



刊夕 日七月九
支那那單語
栗の木を栗樹と書いて
リンシユ、梨の木を
リシユと書いて相似る音
でリンシユ、えんじ
ゆをホアイシユ、に
れの木をニシユ、に
桑を桑樹と書いてサン
シユと稱へてゐる。

高いぞ、晩秋繭 喜悅に張切る蠶家

アメリカ経済界の戦争景氣 十貫百圓示現疑ひなし

石城地方の晩秋繭は去月末から今月初めに捲立てられ七日前後の繭育成績は頗る佳良である。桑葉の發育は八月中旬早天から晩秋繭の捲立てを前にして降雨に恵まれこれまた良好で目下の状況では桑の不足を氣遣はれてゐない。收購五萬五千貫を見込む片倉製蠶製糸の約登盤では同社獨りの特約繭用桑の片倉式桑の仕立など豫期以上の大當りて各家の満足以上の大出廻りし今月末から十月に

かけての中間が盛期らしく即今千五百圓の糸價高に傾らるる蠶家の意氣込みは物凄いほどであつて歐州大戦勃發を契機とするアメリカ経済界の戦争景氣は戦ひが深刻になればなるほど拍車がかかるであらう糸價の騰勢に疑ひなく晩秋繭の出廻り頃までには尙ほ一層の高値を見越され超喜悅に張切る蠶家の期待は外れる筈でなく貫百圓は確實かとの出廻りし今月末から十月に

平驛の八月貨物 一千八百圓増収

小口一萬千七百七十二個増 貸切増収五百五十七圓

平驛の八月貨物は舊益荷の動向もあつたので増収を見込まれてゐる。貸切では米四〇噸、小麦一〇〇噸、木炭四六噸何れも増量から五百五十七圓の増収が主なるもので宅扱ひは八二噸、噸扱ひは二〇圓を減じて増収一四四八八圓(一六八三圓)一八〇五圓増の成績を上げた。取扱ひ別の増減を見れば小口(雜貨)に於ける一三六四圓の増収はガソリン統制で自動車の運轉不如意の爲めであらう個數貨に一

平市部の政友候補 關内正一氏を公認

民政候補に立遅れた陣容を 丸又商店を事務所を整備

昨報石城政友部が獨立した平市部選出の縣議候補につき證衡を一任された鈴木部會長小野、古川兩副部會長、川崎幹事長四氏の間に自説を固辭する若干の閣僚はあつたが小我をすて、大道につく襟度雅量によつて昨六日午後現縣議關内正一氏を公認に決し同氏は即日立候補をなすと同時に三丁目丸又商店を事務所として出馬したる平市部民政公認諸候補三郎氏を事務長に認野崎清藏氏は昨六日から舌の火蓋を切り市公會堂と第

野崎候補の 政見發表演説

昨六日二個所で政友派の立候補に二日を先んじて出馬したる平市部民政公認野崎清藏氏は昨六日から舌の火蓋を切り市公會堂と第

平署の巡查異動

平署では新署官の配置に伴ふ異動を今七日左記の如く發令した

▲神谷駐在所へ本署から小橋勇誠 飯野駐在所へ岡本剛正男(兩駐在共欠員中)

縣管検査を喜ぶ 石城大麥品評會

平驛構内の新農業倉庫にて
出品三百俵を共同販賣

石城郡穀物共同受檢組合聯合會では年産十三萬俵(四斗入)に達する大麥の販賣は縣の検査がないため隣縣茨城ものと比較し甚だしき不利に取扱はれ常に見一俵の値幅一圓を超えてゐる實情を訴へ多年縣管検査の要望を叫んだ結果今年七月十日から漸くこれを實施されるに至つた喜びと平農倉庫が市役所西部の鐵道側に新設倉庫を落成した喜びを兼ね

家兎の夏期屠殺禁止 農林省令で制限の公布

毎年五月一日から十月末迄

軍用兎毛皮確保のため家兎の夏期屠殺禁止は系統農會の強き要望であつたが農林省では八月一日付を以て省令第三十七號により「昭和十二年法律第九十二號第二條の規定により家兎屠殺制限規則」を公布

東洋平和の爲に活躍 長澤 則一

平市町出身の由達中支の空より御悅び申上げます、私も出征以

千圓割増當籤

常銀振に則かな話題
支那那野貯蓄會第十一回の千圓の割増金付去る六月賣出しの常銀銀行平支店取扱ひ五七〇四八は本月一日の第一回抽籤に於て平市驛前耳鼻咽喉科高柳博士の嚴父金三郎氏所有に當籤し思はざる大金の轉け込みを喜ばれてゐるが尙同回券五七〇二(常銀本店扱)五六四〇五(同銀行下支店扱)が當籤し更に不思議なことは去月九日に抽籤を行はれた第六回券の千圓の當籤七八四三も同じく常銀銀行支店が取扱つたものである外に第八回券五百圓の割増當籤も同銀土浦支店の取扱ひである等々常銀取扱ひが如何なる幸運の廻り合せか當籤者は勿論銀行側でも異常な朗らかさに話題を賑はしてゐる

好問村の村葬

石城郡好問村では北滿で名譽の戦死者の故歩兵上等兵小畑通君の村葬を来る十日同村小學校に於て執行する

華々しき戦なく 手柄話も無之候

平市長橋町出身
島崎 己三郎

拜辭、御懇請御なつかしく拜見致しました、承れば戦後の皆々様には聞き誇りに御活躍の由誠に歡喜に堪えない所でありませ、皆々様の御後援によりまして小生も愈々元氣發揚第一線の整備に努めて居りますから何卒御安心下さい、軍務多忙に追はれるとは申しながら余りの御謙遜に我れ乍ら汗顔の至りです、充分なる戦況の御報告も出来ず甚だ残念に思ひ居ります、只今のところ討伐戦もなく只宜撫工作を目的とする整備にて

苗代品評會

石城の入賞廿六名
濱三郡農會主催
濱三郡農會主催、冷害凶作町村に於ける水稻耕種改善の苗代品評會は石城一三九、双葉一三三、相馬一二三の出品に對し審査を了してゐたが今七日午後一時から双葉郡富岡町同郡團休事務所に於て褒賞授與式を舉行した石城の受賞者左記の如くである

▲一等津澤松原(永戸)大河原清吉(川前) ▲二等平子平三郎(入道野) 楠田鏡夫(同) 酒井正親(同) 藤川登(田人) 藤川正司(同) 柴崎春次(永戸) 平野光明(温床向) 高橋安吉(箕輪) 津野野(澤渡) ▲三等橋田信人(平子) (以上一、二、三、九、三、等一五)

指導講習會

各炭鐵の六百名に
平職業紹介所では過渡實施された雇入制限令本旨の認識を深める爲め石炭の増産報國に邁進しつゝある磐城、入山、古河、大日本炭鐵等の指導監督の地位にあるもの六百名を招集し来る十日午前十時から平市公會堂に於て右講習會を開

文魁文堂
電話 313 番

事務家諸兄に
ムツリニペン
を奨む

國産品に斯なよいペンがあるのは喜ばしいことです。
錆びない、書きよい、耐
ちよい、三拍子揃つた
ペンです。

庶業

教化村の五年目

見事なる姿

(下) 秋田縣の真中村
今物心共に裕福

十三年度の減収は水害によるもので尙ほ米の生産は教化村完成年の十五年度は反當三石五斗收量の豫定、
 ▲畑作は(指定村となつた當時反當十五畝)耕作反別一戸當り二反五畝歩に過ぎなかつたが現在では温床設置による蔬菜栽培並に輪作關係を考慮して小作の裏作等により反當二十二畝の七畝増の收入を得これもまた完成までには反當三十畝は容易である、
 ▲副業、教化指定村前までは一萬圓内外のもが現在薬工品の八千圓、養蠶の六千圓、ミダラク三千圓その他六千圓で合計二萬五千圓となつてゐる、これまた一萬五千圓の増、
 ▲貯金、指定當時は總額二萬圓程度よりなまものが現在銀行預金は約五萬圓、郵便貯金三萬圓のうち報國貯金は二千圓と云ふ素貯らしの質情となつた、
 ▲負債整理組合、四ヶ部落で組織され現在負債證明書をまとめ條件緩和中であり出来次第返還金の交付を得ることが出来ることになつてゐる、

以上でもわかる様に教化村に指定された村民は自衛自戒村是の實踐に努めた結果村全体が非常に裕福となりつゝあり現に秋の收穫期にも新米を早く刈取るものは殆どなく夏米を賣るものも多くなつてゐる

ことが立派な證據で、これは即ち精神的によく指導者の言葉を守り努力した結果で真中村は教化指定村四年ですすでに物心兩方面が完全に更生されてゐる事實がよく物語られてゐる、(完り)

スペイン GHN 元詰 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

病室増築、手術室完備
 産科 醫學博士
 婦人科 五十嵐雄二
 平市新川町「電話二六九番」

電話五九二番
 に變りました
 レストラン サロン
 平市銀座街

お醤油は ヤマフル
 醤油、味噌、たひら正宗、鯉節食料品
 山崎合名會社
 電話 本営業部 二七〇番
 明治生命磐城代理店 山崎與三郎

大小の御宴會にホール
 御家族の御同伴其他の
 御集ひに御座敷
 味覺實質 マルトモ食堂
 衛生萬點の
 平市四丁目(電話二二三番)

債券、公債、兩替、金融
 多田井質店
 平市大工町 電話五九一番

類品洋とンバカ

 (話電) 屋砂眞 (前驛、市平) (り通道新)

平病院 (平市元共濟病院跡)
 電話六四一番
 院長 醫學博士 鈴木定藏
 副院長 鈴木定藏
 內科 院長 鈴木定藏
 小兒科 副院長 鈴木定藏
 皮膚泌尿科 院長 鈴木定藏
 物理療法科 院長 鈴木定藏
 藥劑科 部長 吉本孝平
 診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
 夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

帝國海上保險株式會社
 火災、水災、海上、陸上
 平代理店 關内正一
 事務取扱者 阿部助次郎
 平市二丁目 電話一六番

專門 皮膚科、泌尿器科、性病科
 診療時間 午前八時より午後九時まで
 醫學博士 江尻伊三郎
 平市田町 電話六九一番
 院醫尻江

和洋食品店
 食品、飲料、調味料、加工食品
 平市元共濟病院跡

診療科目
 一、齒科一般
 保存科、補綴科、組織架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、レントゲン科
 一、口腔外科
 一、レントゲン科
 平市田町(松月堂向)
 中野齒科醫院
 院長 日本齒科醫學士 中野憲次
 主任 佐藤重義